

はまだ 社協だより



ふれあいネットワーク

9月
第214号

令和7年9月1日発行

いだんのくらしがしあわせに

サマーボランティアスクール



7月30日(水)、田ノ浦海岸、三隅まちづくりセンターを会場として、令和7年度サマーボランティアスクールを開催しました。市内の小学3年生から6年生の児童104名が参加し、カヌー体験や海遊び、災害時の炊き出し体験、ビーチクリーン活動などをボランティア等の大人30名と一緒に行いました。

B&G海洋センターの方の指導のもと、カヌー体験と海遊びを行い、自然を楽しみ、お礼としてビーチクリーン活動を行いました。炊き出し体験では、災害時用の炊飯袋を使ってお米を炊く方法を学びました。児童からは「お米の炊き方が難しかったが、おいしくできてよかった」「海の安全について学び、海が好きになった」との感想がありました。各小学校や年代の枠を超えて、参加者全員で楽しく学ぶことができました。



発行: 社会福祉法人 浜田市社会福祉協議会

■本所・浜田支所 〒697-0016 浜田市野原町859-1

Tel:(0855)22-0094 Fax:(0855)22-6930

E-mail:hamada-shakyo1@hamada-shakyo.com

ホームページ:<http://www.hamada-shakyo.com>

■金城支所

Tel:(0855)42-2300 Fax:(0855)42-2303

■旭支所

Tel:(0855)45-0188 Fax:(0855)45-0258

■弥栄支所

Tel:(0855)48-2313 Fax:(0855)48-2416

■三隅支所

Tel:(0855)32-0401 Fax:(0855)32-2121



赤い羽根共同募金運動 が始まります！

「困ったときは、おたがいさま」の気持ちで始まった赤い羽根共同募金。
募金をする人、活動する人、支えられる人。赤い羽根でつながっています。

令和7年度 募金目標額

17,487,000 円 

.....

(内訳)

赤い羽根共同募金 12,981,000円

歳末たすけあい募金 4,506,000円

今年も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。市民の皆さまからお寄せいただく募金の約7割は“浜田のまちを良くするため”の地域福祉活動や子育て支援、高齢者支援や障がい者支援活動、未来を担う小中学生の福祉教育などに活用され、残りの約3割は島根県内全域の福祉活動や災害時の支援活動に役立てられています。

共同募金は、地域ごとに使いみちや集める額を事前に定めて、募金運動を展開する計画募金です。浜田市では、令和7年度の目標額を上記のとおり定め、様々な募金活動を展開してまいります。どうか皆さまの温かいご理解・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。



【福祉教育の推進】



【高齢者の安心・安全推進】



浜田市共同募金委員会
会長 室崎 富恵



浜田市社会福祉協議会 助成事業2次募集 【令和7年度事業】

①地域福祉活動推進事業（募金実績の範囲内において 1団体5万円以内）

浜田市内の民間団体等が実施する住民自らが参画・活動する地域福祉活動に対し、事業経費の一部の助成を行います。（事業実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日）

②高齢者サロン立ち上げ支援事業（高齢者サロン新規開設 初年度のみ1団体3万円以内）

浜田市において、住民自らが企画し、立ち上げようとする“新規高齢者サロン”に対して助成を行います。（事業実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日）

③歳末たすけあい事業（募金実績の範囲内において 1団体3万円以内）

浜田市において、年末年始に行われる地域活動・福祉活動に対して助成を行います。
（事業実施期間：令和7年12月1日～令和8年1月31日）

募集期間：令和7年8月1日（金）～10月20日（月）

【申込み＆問合せ先】
浜田市社協 地域福祉課
TEL：22-0094
FAX：22-6930



← 社協のホームページはこちらをチェック！





赤い羽根協力店募集

浜田市共同募金委員会では、共同募金運動にご協力いただける店舗・企業・個人を募集しています。取り組みとして募金百貨店、赤い羽根自動販売機の設置、赤い羽根オリジナルしまねっこ缶バッジのガチャガチャ募金などを行っています。集められた寄附は地域の様々な福祉活動に役立てられます。詳しくは、浜田市共同募金委員会までお問い合わせください。

☆赤い羽根自動販売機☆

現在、「コカ・コーラ」「千曲(ダイードリンコ)」「伊藤園」「ホーキング」4社のご協力により、浜田市内で25の場所に、赤い羽根自動販売機が設置されています。自動販売機の売上の一部が募金として寄附されます。

設置にご協力いただける方のご連絡をお待ちしています。



浜田市総合福祉センター1F



このマークのついた自販機を見つけてっピー！



☆ガチャガチャ募金☆

ガチャガチャ募金は、赤い羽根オリジナルのしまねっこ缶バッジのガチャガチャを店舗に置いてもらい、売り上げの総額が募金となります。

新規として、大阪で浜田市の特産品などを販売するアンテナショップ「島根県浜田市物産販売店 からちゃん」、旭温泉「あさひ荘」がガチャガチャ募金設置にご協力いただいています。



「からちゃん」店舗内



旭温泉「あさひ荘」

【問合せ先】浜田市共同募金委員会 TEL：22-0094 FAX：22-6930

役員改選のお知らせ 任期：令和9年6月評議員会の終結時まで

任期満了に伴い、評議員会で新役員が選任されました。また、その後の理事会において、会長、副会長、常務理事の選出が行われ、下記のとおりとなりました。

役職	氏名	区分
会長	中島 良二	学識経験者
副会長	岩崎 敏	金城福祉圏
副会長	勝手 俊美	民生委員・児童委員代表
理事	瓦田 富子	浜田福祉圏
理事	藤本 静晴	旭福祉圏
理事	岡本 薫	弥栄福祉圏
理事	久保田耕治	三隅福祉圏
理事	沖田 直幸	社会福祉施設等代表

役職	氏名	区分
理事	浅津 芙美	ボランティア・NPO代表
理事	原田 義則	高齢者団体代表
理事	久保 智	行政職員
常務理事	古森 義明	学識経験者
監事	奥田 重倫	社会福祉法人会計基準に基づく財務諸表を監査しうる者
監事	小澤 孝子	社会福祉事業について学識経験を有する者又は地域の福祉関係者
監事	中田 宏之	社会福祉事業について学識経験を有する者又は地域の福祉関係者



社協のホームページはこちらをチェック！



ボランティア養成講座



あいサポーター研修

多様な障がいの特性、障がいのある方が困っていること、必要な配慮などを学び、できる範囲で障がいのある方の「ちょっとした手助けや配慮」ができる「あいサポーター」を養成する講座です。特別なスキルは必要なく、意欲のある方ならどなたでも受講できます。

日 時：9月17日(水) 13:30～15:30
会 場：浜田市総合福祉センター 会議室
講 師：あいサポートメッセンジャー
締 切：9月10日(水)
定 員：30名程度



認知症VR体験

VRを活用し、認知症を体験することで「自分ごと」として理解を深めます。認知症の方やそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、お手伝いできることを考えてみませんか？
※VR機器の操作があります。

VRとは、コンピューターで作られた仮想空間を、現実のように体験できる技術。

日 時：11月6日(木) 13:30～15:00
会 場：浜田市総合福祉センター 会議室
締 切：10月24日(金)
定 員：30名まで
※ファシリテーターの説明、指導のもと体験を行います。



【申込み＆問い合わせ】

浜田市社協 地域福祉課 TEL: 22-0094 FAX: 22-6930

参加者募集！ 浜田市障がい者スポーツ大会

スポーツを通じて、様々な障がいを越えた交流と相互理解を深め、リハビリテーションと健康の増進を図り、社会参加を促進することを目的として下記の2つの大会を開催します。

対象は市内在住で18歳以上の身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者の方（ただし、学生は除きます）です。参加費は無料です。多くの方のご参加をお待ちしています。

ボッチャ競技会



日 時：10月25日(土)
9:30～正午(受付9:00～)
会 場：浜田市総合福祉センター
申込期間：9月1日(月)～10月10日(金)

ボウリング大会



日 時：11月29日(土)
9:30～正午(受付9:00～)
会 場：ボウル ジャック(浜田市浅井町)
申込期間：10月1日(水)～11月7日(金)

【申込み＆問合せ先】浜田市障がい者スポーツ大会実行委員会 担当：鎌田・三谷
TEL: 22-0094 FAX: 22-6930

自死遺族わかちあいのつどい

家族の思いに共に寄り添い、気持ちを語り合える場として定期的に開催しています。自死遺族だけで運営していますのでご遠慮なくお越しください。

日 時：9月20日(土)
14:00～ 遺族だけでの分かち合い
15:30～ 交流会(クールダウン茶話会)
参加費：300円(茶菓子、資料代等)
会 場：浜田市総合福祉センター
問合せ：しまね分かち合いの会・虹
事務局：090-4692-5960



社協のホームページはこちらをチェック！



プロから学ぶふくし教育『介護の基礎的講座』

旭中学校、第二中学校にて「介護の基礎的講座」を実施しました。介護職の方を講師に迎えて、施設の様子を写真で紹介していただいたり、年をとることについて学び、介護の仕事について理解を深めました。その後は、車いす介助の体験やとろみをつけたお茶の試飲などを行いました。介助をする側だけでなく、介助される側も体験することで、どうすれば安心してもらえるのかを考えました。

講師からは、「介護とは、一人ひとりの価値観を守ること」「技術だけではできない。介護に必要なのは信頼されること」と話があり誇りをもって日々の業務に取り組んでおられる様子が伝わりました。

実施後のアンケートには、「人と人との関わりが一番大切な仕事だと思った」「介護の仕事に興味があるので、とても参考になった」などの感想があり、貴重な体験となりました。

本年度は、2学期以降で4校の基礎的講座を予定しています。

旭 中



講師:旭豊福祉会

浜田二中



講師:愛心会

参加者募集！ 9月・10月 城山大学の予定

★9月30日(火) 10:00～11:30

会 場：浜田市総合福祉センター 会議室
講 義：『ヒアリングフレイルと認知症予防』
講 師：浜田市認知症地域支援推進員
吉川 優子 氏

「ヒアリングフレイル」とは、加齢などにより、聴覚機能が低下し、聞こえにくくなる状態を指します。今回は、聞こえにくさから起こるコミュニケーションの困難さや、認知症との関連、予防方法についてお伝えします。

★10月23日(木) 9:00～16:30

『城山大学研修旅行』in山口県萩市
行き先：萩明倫学舎
村田蒲鉾店工場他

参加費：1人2,000円

定 員：20名

締 切：10月10日(金)

申込み：浜田市社協
地域福祉課へ

※定員を越える場合は
城山大学・学級の受講生を優先します。

萩の歴史と食を学びます。
お土産ショップやレストラン
での昼食などの楽しみも！



【問い合わせ】浜田市社協 地域福祉課 TEL: 22-0094 FAX: 22-6930

善意のお礼

6月1日～7月31日

善意のご寄附に対し、心よりお礼申し上げます。(順不同・敬称略)

◇ 香 典 返 し 等

瀬戸見町 井田 寛
黒川町 直江 愛子
長浜町 品川 康人
瀬戸ヶ島町 新家 浅夫
田 町 (故)吉野 恵子
田 町 永見 豊量
広島県 横田 好明
広島県 杉元 政雄
日脚町 山崎 誠
朝日町 (故)長見 京子
周布町 (故)表田 務
蛭子町 (故)吉浦 宏
金城町 渡辺 繁子

金城町 (故)藤田 忠子
金城町 岡田 勇
金城町 山崎 郁子
金城町 山田 光博
金城町 林 寿男
金城町 河野 正人
旭 町 益本 安人
三隅町 (故)山根 邦夫
三隅町 永田 弘明
三隅町 萩原 サチ子
三隅町 (故)山根 章
三隅町 稲岡 光雄
三隅町 佐々木 正志
三隅町 (故)本山 ミチ子

三隅町 古森 善國

◇ 福 祉 バ ス 購 入 寄 附

新 町 サロンひだまりふっくら
熱田町 福井友愛クラブ
長沢町 長沢健寿会
長沢町 浜田市ユニカル協会
殿 町 浜田市食生活改善推進協議会

◇ 指 定 寄 附

(介護保険事業へ)

松原町 西澤 正吾
三隅町 三浦 敏夫

◇ 一 般 寄 附

竹迫町 竹迫なごみの会
殿 町 浜田市食生活改善推進協議会

益田市 小河 英樹
港 町 浜田市シルバー人材センター
長浜町 カラオケハウス歌子
金城町 今福高齢者クラブ福寿会
三隅町 殿河内春日クラブ

◇ 地 区 社 協

(国府地区)

下有福町 杉田 昇

(周布地区)

治和町 渡邊 恵夫



社協のホームページはこちらをチェック！



かなぎ

在宅介護者のつどい 第1回「つれづれの会」開催！



金城支所では年2回、介護者のつどい「つれづれの会」を開催しています。

1回目として、リフレッシュと交流を目的に7月9日(水)、民生児童委員さんとともに参加者20名で広島方面へ出かけました。

広島駅OKOSTA(オコスタ)では広島風お好み焼きを体験しました。苦心の末、でき上がった自慢のお好み焼きに好みのトッピングを選び、何種類かのソースを試食し、賑やかな昼食タイムとなりました。昼食後は駅ビルの新たな商業施設「ミナモア」を散策。お土産選びも楽しみのひとつのようでした。

駅ビルを後にし、広島市健康づくりセンター「健康科学館」を訪れ、生きるってなんだろう、病気ってなんだろう、老いるってなんだろうと、様々な視点から健康について学びました。

普段は要介護者の体調に気を配っておられる方々ですが、ご自身の健康について向き合える、よい機会となりました。



やさか

川遊び交流会



7月31日(木) 道猿坊公園において、小学生、高齢者クラブ会員、まちづくりセンター職員、社協職員等、総勢49名参加のもと、川遊び交流会を開催し、川遊びや飯ごうでお米を炊く体験を行いました。

高齢者クラブの方から、火起こしのやり方を教わり、昔ながらの方法でお米を炊きました。体験のなかで児童たちは、高齢者クラブの方より、昔の生活の様子を聞き、今の生活との違いに驚いている様子でした。

川遊びでは、ライフジャケットを着用し、決められた範囲内で泳いだり潜ったりして、自然を楽しみました。交流会の最後には、良く冷えたとても甘いスイカを参加者全員で食べ、年代の枠を超えて参加者全員で楽しい夏休みの思い出を作りました。

